

4～9月期 決算 ランキング

△下

上場企業の2010年4～9月期決算を発表し、9月末の負債資本倍率(金融除く)1745社(D/Eレシオ)を前年同期と比較し、改善度が大きい順にランキングした。上位にはリーマン・ショック後の収益低迷を経て、財務の安定性向上を目指して戦略的に手元資金を増やしたり負債を圧縮したりした企業が並んだ。自動車関連など、業績回復で自己資本が増えた企業も目立った。集計対象は19日まで

10年9月末の負債資本倍率
改善度ランキング

順位	社名	負債資本倍率(倍)	前年同期比改善度(%)
1	タカラレーベ	2.18	2.50
2	コロワイド	1.71	2.19
3	ユニチカ	8.23	2.03
4	住軽金	6.29	1.88
5	エフテック	2.24	1.67
6	富士機工	1.20	1.51
7	VTHD	1.96	1.40
8	ソフトバンク	3.31	1.39
9	市光工	1.33	1.20
10	相鉄HD	7.01	1.16
11	エルピーダ	0.99	1.13
12	富士電HD	1.17	1.10
13	パイオニア	0.77	0.97
14	ミサワホーム	0.12	0.95
15	長谷工	1.68	0.95
16	プレーキ	0.76	0.92
17	D I C	3.04	0.92
18	兼松	3.52	0.90
19	河西工	1.24	0.84
20	鬼ゴム	0.74	0.84

← VTホールディングス株式会社

(注)純有利子負債を使ったネットD/Eレシオ。3月期決算企業(金融、新興除く)で10年9月末の自己資本が100億円以上の企業が対象

上位40社を電子版マネー「マーケットonline」(<http://nvmol.nikkei.co.jp/>)に掲載

負債資本倍率の改善度

増資・負債圧縮で財務強化

自動車関連など利益回復

「純有利子負債」を使い計算した。倍率が低いほど実質的な債務の返済能力が高いこと。リーマン・ショック後、新規の資金調達が一有利子負債をゼロにする「孫正義社長方針」に金融市場が急速に収時的に困難になり、各社「削減を強力に進めて収益改善を進めている」。

とも新規投資で、今年9月末の純有利子負債(リース債務含まず)は09年9月末比で18%減った。かねて大規模な設備投資から資本調達した企業もある。マンション販売のタカラレーベ(1位)は5月、既存株主に新株を割り当てる資金調達手法「ライツイシュー」を国内企業で初めて実施。調達した約46億円はマンション取得資金に充てられた。外食大手のコロワイド(2位)は3月に74億円を調達。主力の居酒屋事業で価格競争が激化し、売り上げ急減に備えた。金融危機後にコスト削減を進めて収益改善を進めている。

加速している。15年3月期までに純負債の圧縮をた。業績が急回復して自己資本が厚くなった企業も上位に入った。典型はエド(2位)は3月に74億円を調達。主力の居酒屋事業で価格競争が激化し、売り上げ急減に備えた。金融危機後にコスト削減を進めて収益改善を進めている。